

2016年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス 株式会社

2015年10月27日

決算報告

取締役

佐伯 幸雄

2016年3月期 中間業績

(百万円)

	2015年3月期 中間	2016年3月期 中間	増 減	2016年3月期 中間予想
売上高	53,952	57,143	3,190	54,000
売上原価	46,606	49,537	2,931	
売上総利益	7,346	7,605	258	
販管費	6,773	6,816	43	
営業利益	573	788	215	
営業外収益	42	74	31	
営業外費用	173	215	42	
経常利益	442	647	205	530
中間純利益	287	416	128	350
従業員数	999名	972名	▲27名	

前期比 : 増収増益 売上高5.9%増 経常利益46.4%増 中間純利益44.8%増

セグメント別 売上高・利益

(百万円)

セグメント	2015年3月期中間		2016年3月期中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額 (増減率)	セグメント利益	増減額 (増減率)
半導体及び電子デバイス (EC)事業	46,978	312	48,698	1,719 (3.7%)	375	62 (20.1%)
コンピュータシステム関連 (CN)事業	6,973	129	8,444	1,470 (21.1%)	272	142 (109.5%)
合計	53,952	442	57,143	3,190 (5.9%)	647	205 (46.4%)

売上高

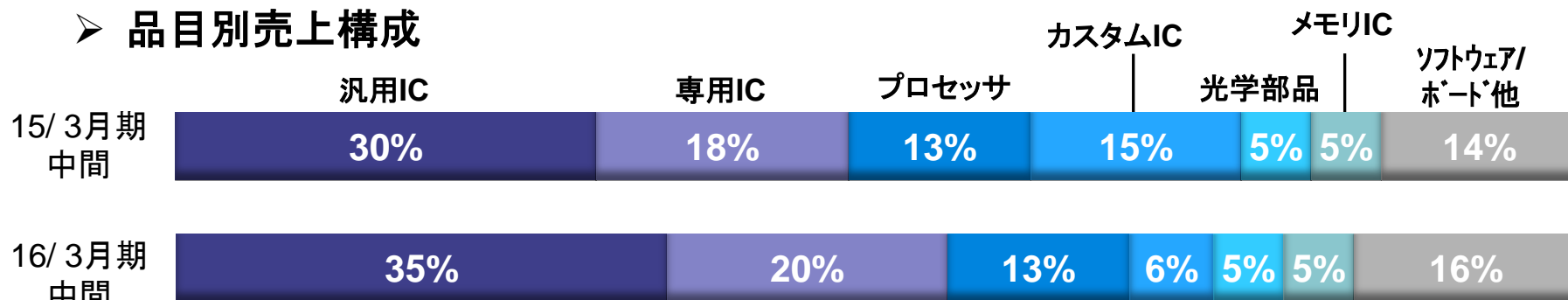
EC事業 : ザイリンクス社販売代理店契約終了に伴い産業機器 通信機器向けカスタムIC減少
一方 PC ストレージ等コンピュータ・周辺機器向け汎用IC増加

CN事業 : ネットワーク機器ストレージ機器とも販売好調 保守サービスは堅調

利益 : EC事業 CN事業とも売上高増加に伴う増加

セグメント情報 EC事業

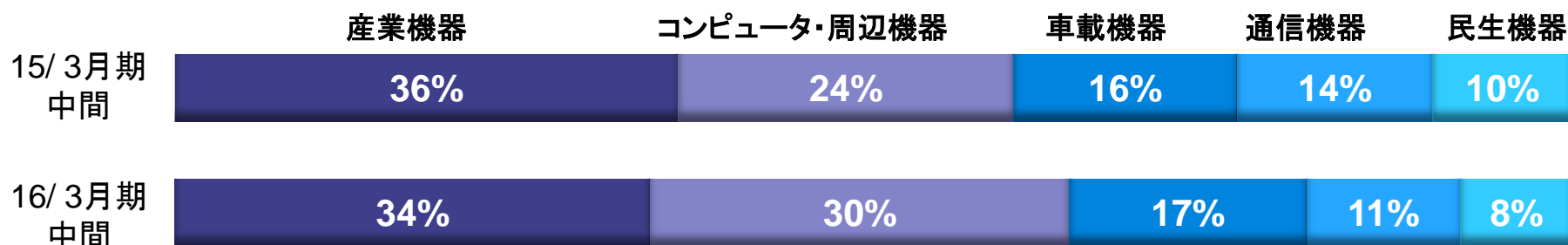
品目別売上構成



汎用IC : PC ストレージ向け増加

カスタムIC : ザイリンクス社販売代理店契約解消に伴い減少

用途別売上構成



コンピュータ・周辺機器 : PC ストレージ プリンタ POS増加

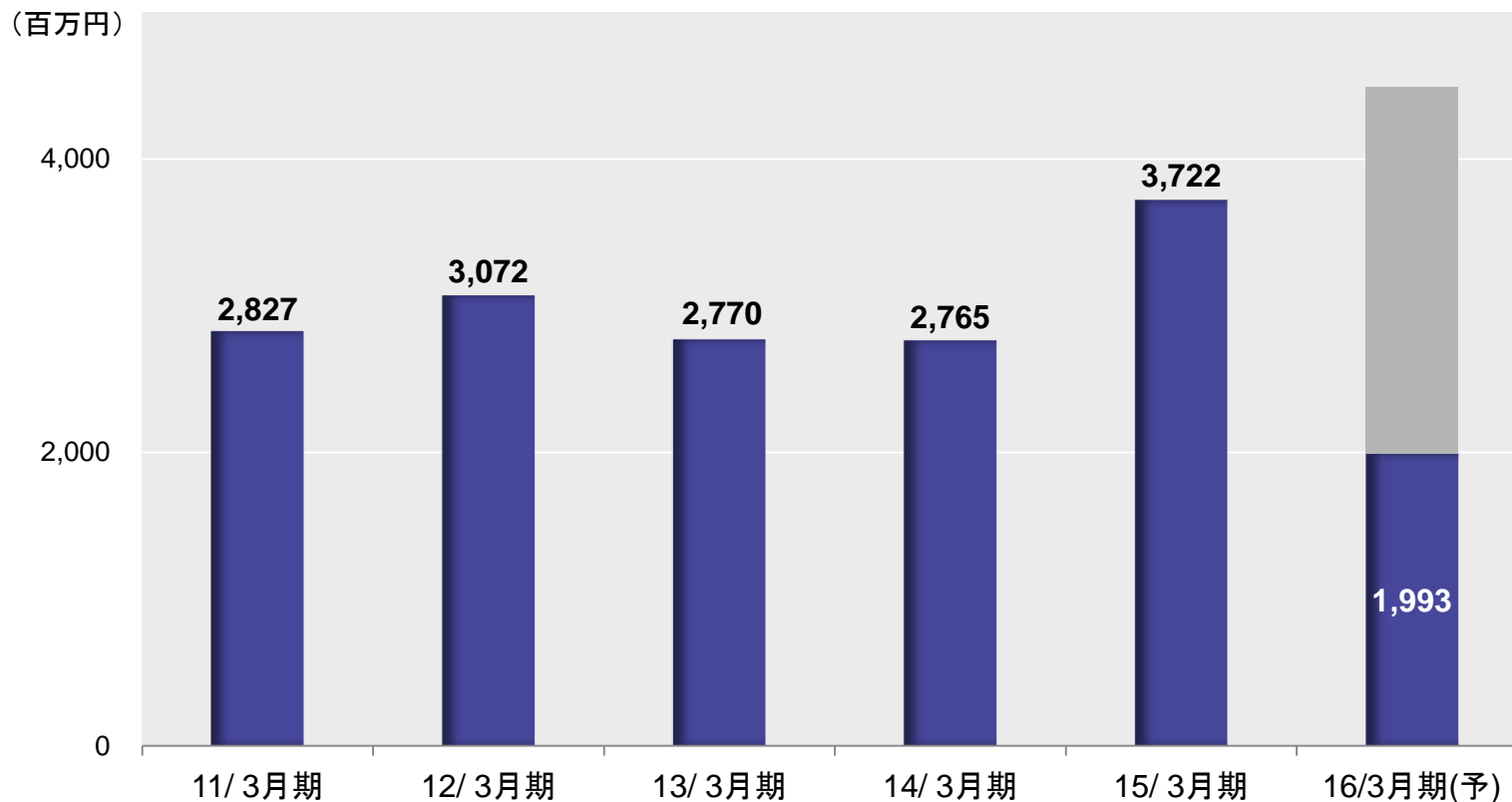
産業機器 通信機器 民生機器 : ザイリンクス社販売代理店契約解消に伴い減少

海外連結子会社売上高 EC事業

	2015年3月期 中間	2016年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	13,019	16,957	3,937	30.2%
海外連結子会社 売上高比率	27.7%	34.8%	—	—
海外連結子会社 売上高(M\$)	126	139	12	10.1%
為替レート(円)	103.01	121.87	—	—

アジア地域の日系企業向け販売は堅調、ドルベースでは前期比10%増
為替換算差(円安)による売上増加(前期比約26億円増)あり

インレビウム売上高 EC事業



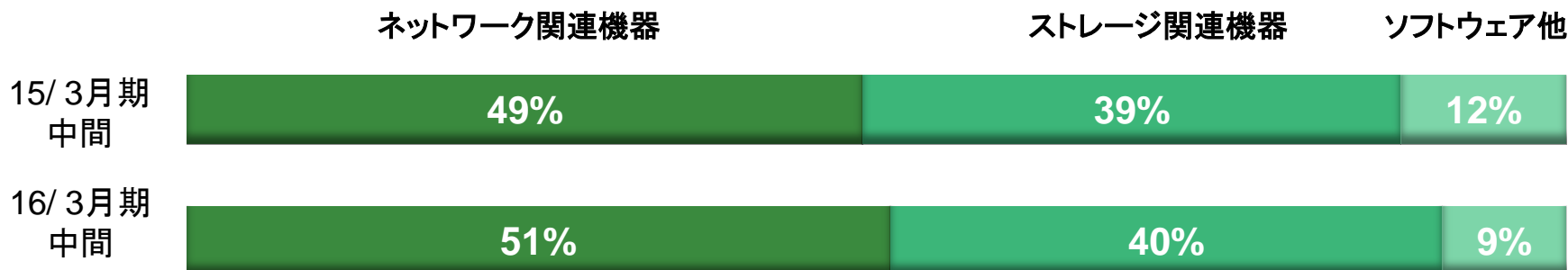
インレビウム中間売上高:約20億円(前期比19%増)

産業機器向け設計/量産受託サービス 堅調

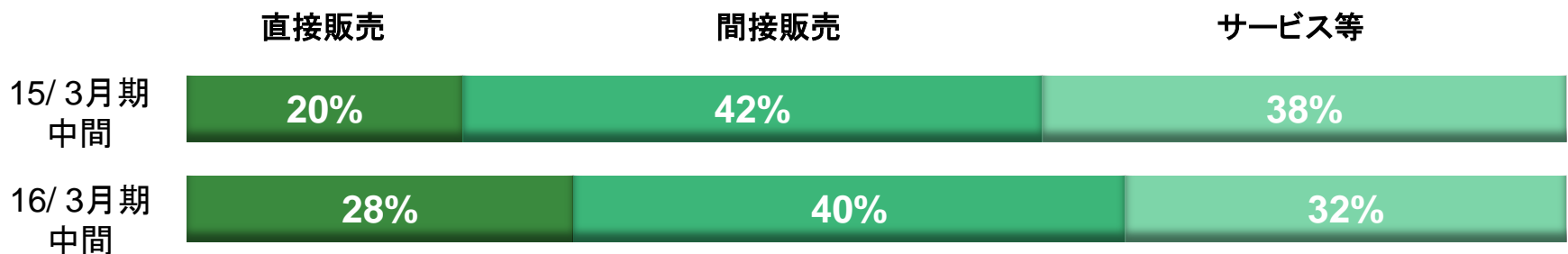
通期も前期比20%増を計画

セグメント情報 CN事業

➤ 品目別売上構成



➤ 販売形態別売上構成

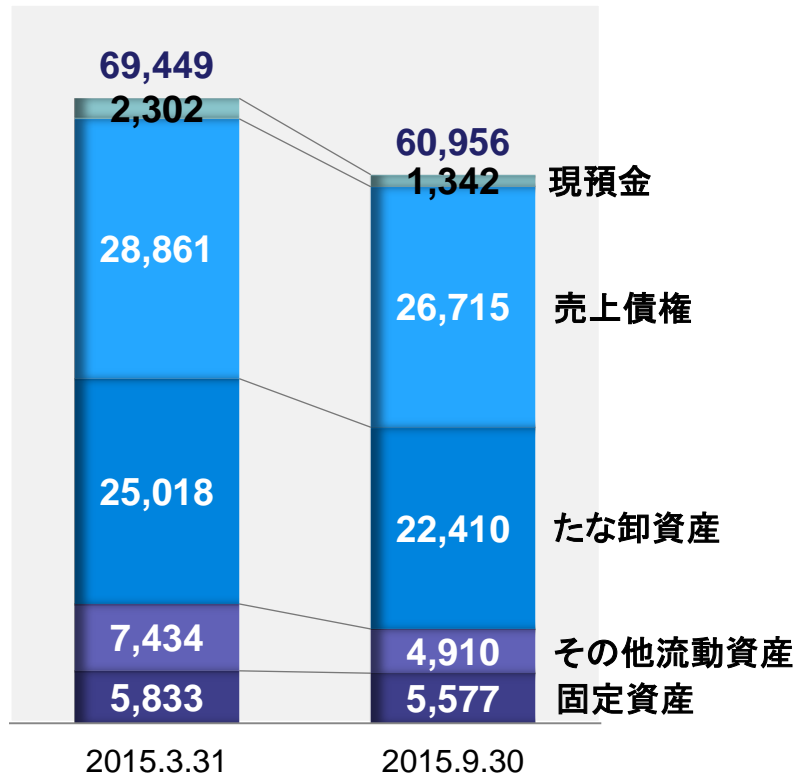


官公庁 データセンター向け機器販売好調
特に直接販売は売上高前期比73%増
保守サービスは売上高前期比3%増

貸借対照表

➤ 資産

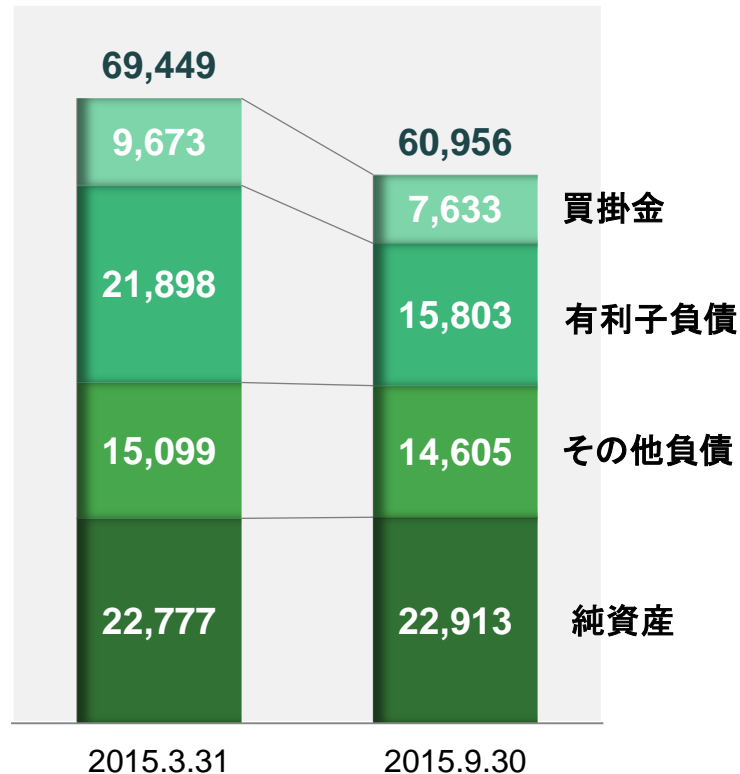
(百万円)



売上債権 減少：3月 9月単月売上差
 たな卸資産 その他流動資産（未収消費税）減少：
 ザイリンクス社販売代理店契約解消による

➤ 負債・純資産

(百万円)



買掛金減少：3月 9月単月仕入差
 有利子負債減少：たな卸資産減少による

2016年 3月期 下期 活動方針と業績見込み

代表取締役社長

徳重 敦之

✓ VISION 2020

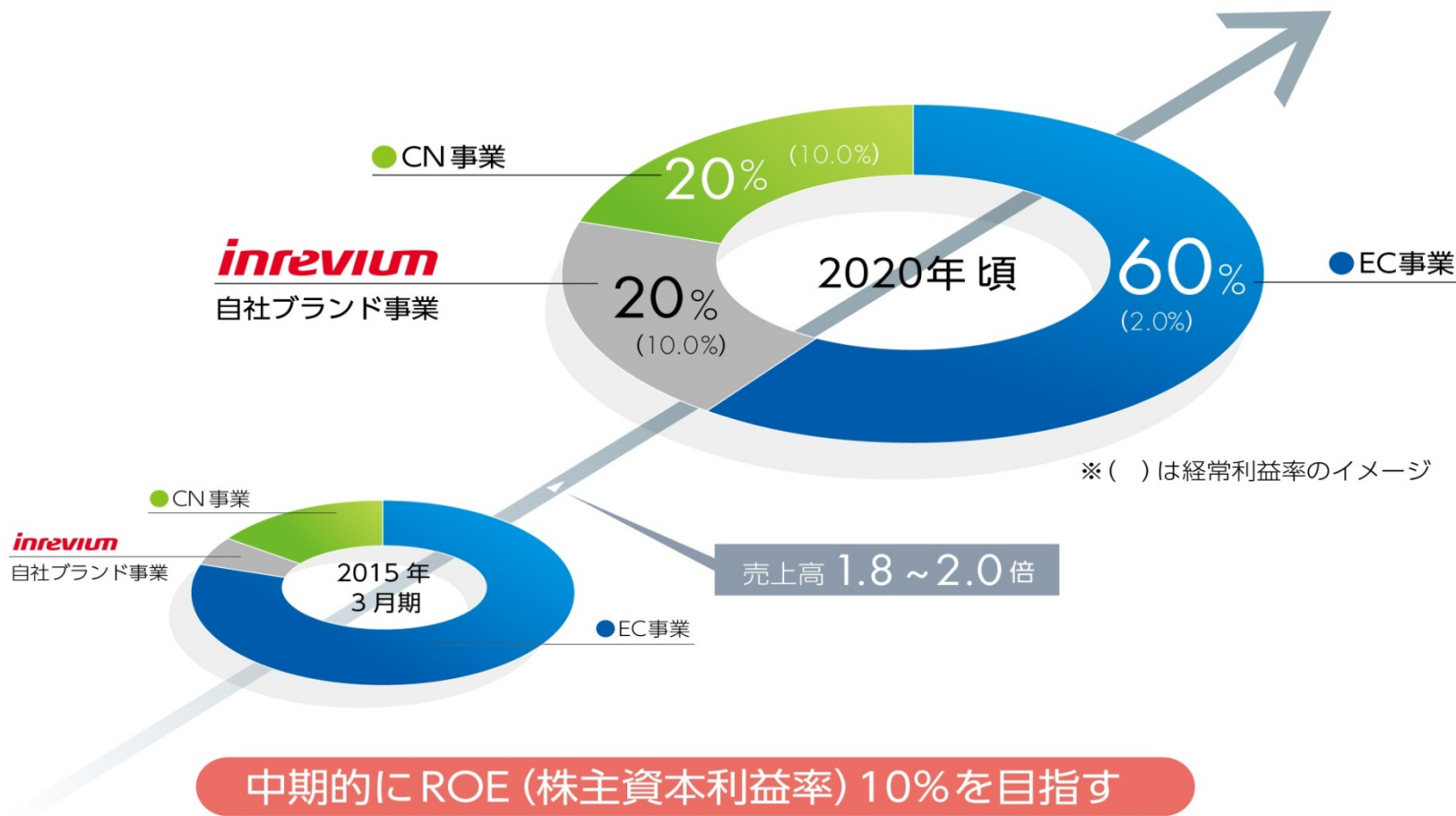
✓ 活動方針

- EC事業
- 自社ブランド事業
- CN事業

✓ 2016年3月期 業績見込み

✓ 株主還元

VISION 2020



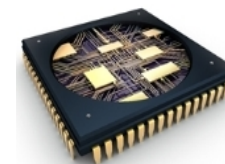
注力市場

産業機器
医療機器
車載機器
社会インフラ
IoTインフラ



注力製品

アナログ製品
プログラマブル製品



施策

商品の拡充
グローバル展開
サービスの充実

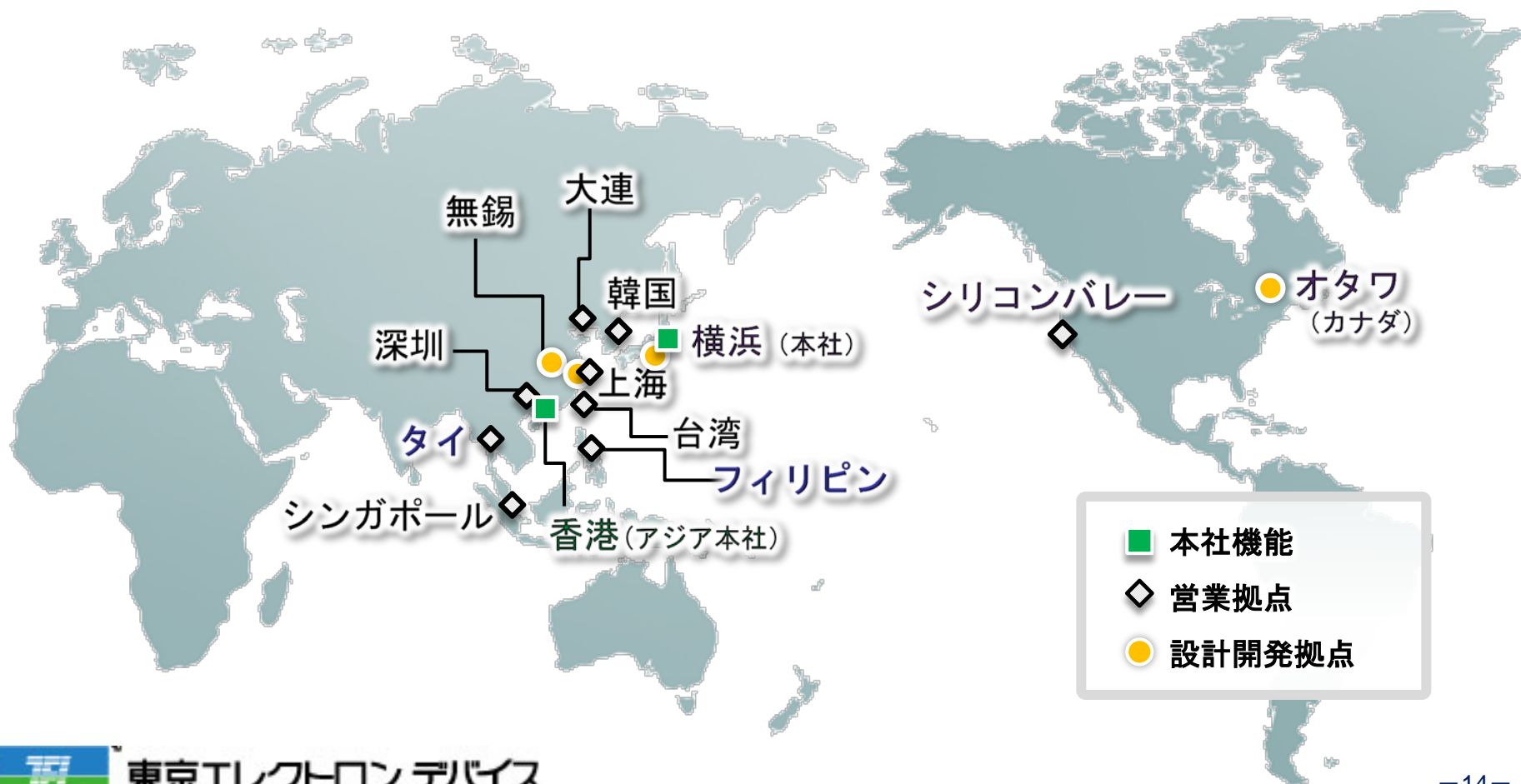
➤ 商品の拡充(新商材)

取扱い開始日	メーカー名	製品及び特徴	注力市場
2015年7月	 ラティス セミコンダクター社	FPGA(プログラマブル製品) メーカー 低消費電力最小クラスFPGA に強み	産業機器 通信機器 モバイル端末
2015年7月	 株式会社ベルニクス	日本の電源メーカー 特注電源やパワーモジュール 製品に強み	産業機器 医療機器 社会インフラ

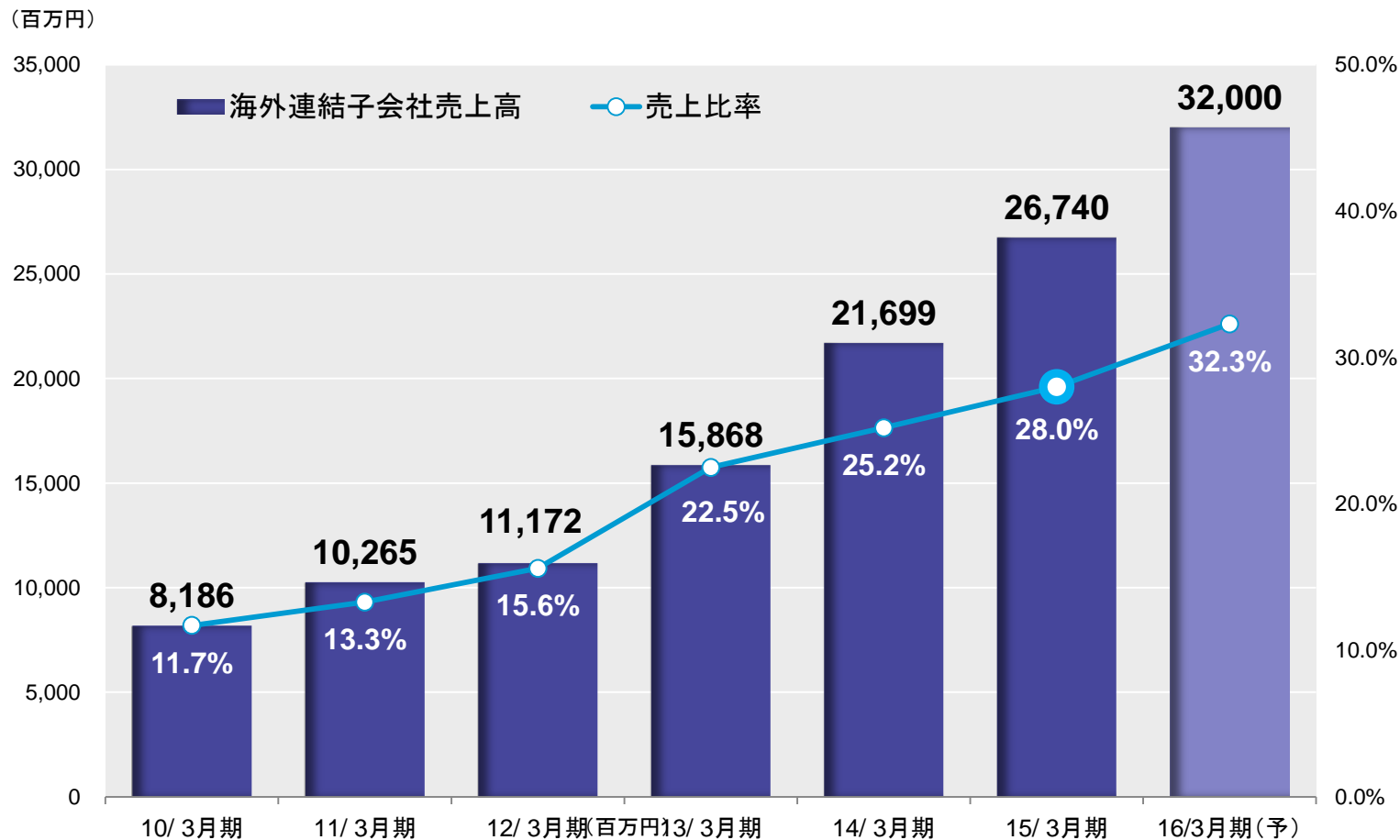
➤ グローバル展開

2015年 8月：TEDタイ設立(駐在員事務所を法人化)

2015年 8月：フィリピンに駐在員事務所を開設



▶ 海外連結子会社売上高



※ 売上高比率は、EC事業売上高に対する海外連結子会社売上高の比率です。

注力製品

設計／量産受託サービス(DMS)



自社ブランド製品⇒省人／省エネ等環境製品

施策

設計／量産受託サービスの拡充

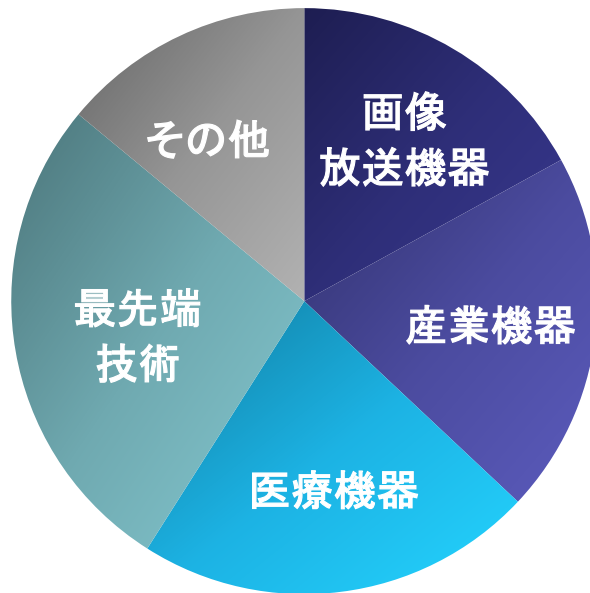
放送機器(画像処理)産業機器、医療機器に実績
車載機器に注力

FPGA(プログラマブル製品)を用いた設計拡充

自社ブランド製品の開発推進
パートナーとの技術協力



➤ 設計／量産受託サービス(DMS)



採用例

日機装株式会社様
透析装置



© NIKKISO CO.,LTD.

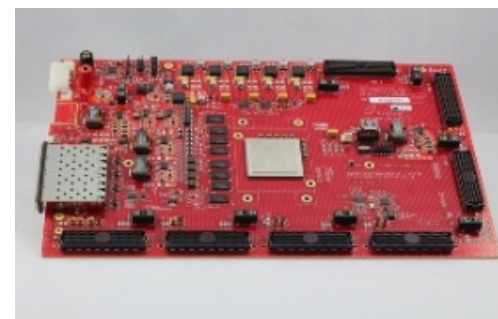
➤ 車載機器に注力

インレビウム製品 販売代理店契約締結

2015年7月
株式会社トーマンエレクトロニクス
株式会社豊通エレクトロニクス



FPGA技術を活用し車載ビジネス強化



※ 写真はイメージです。

➤ FPGAを用いた設計(デザインサービス)拡充



FPGAメーカーとの開発パートナー契約を締結

➤ 省人／省エネ製品の開発推進

パートナーとの技術協力

スマックス株式会社のマクロ検査技術と
当社の画像処理技術を融合



薄膜ムラの自動検出アルゴリズムを共同開発
マクロ検査モジュール(省人製品)を発売予定

省エネ環境製品



inrevium
Smart Energy Assist



※ 写真はイメージです。

2015年7月 発売開始

エアコン・冷凍機のコンプレッサーを制御
能力を維持したまま消費電力を削減

アジア地域を中心に拡販

注力市場

クラウド 及び ビッグデータ関連市場
データセンター事業者
通信事業者
情報サービス事業者
官公庁

注力製品

クラウド関連製品
高速ストレージ製品
セキュリティ製品



施策

新規商品の拡充
保守サービスの拡充

➤ 新規商品の拡充

代理店契約

取扱い開始日	メーカー名	製品及び特徴	注力市場
2015年4月	NUTANIX ニュータニックス社	サーバーとストレージを 統合したソフトウェア	クラウド データセンター

新商品 **SS8** (エスエスエイト)社 **SS8**

2015年6月 サイバーセキュリティ対策用ソフトウェアを一般企業向けに販売開始

➤ 保守サービスの拡充

自営保守の業務を拡大

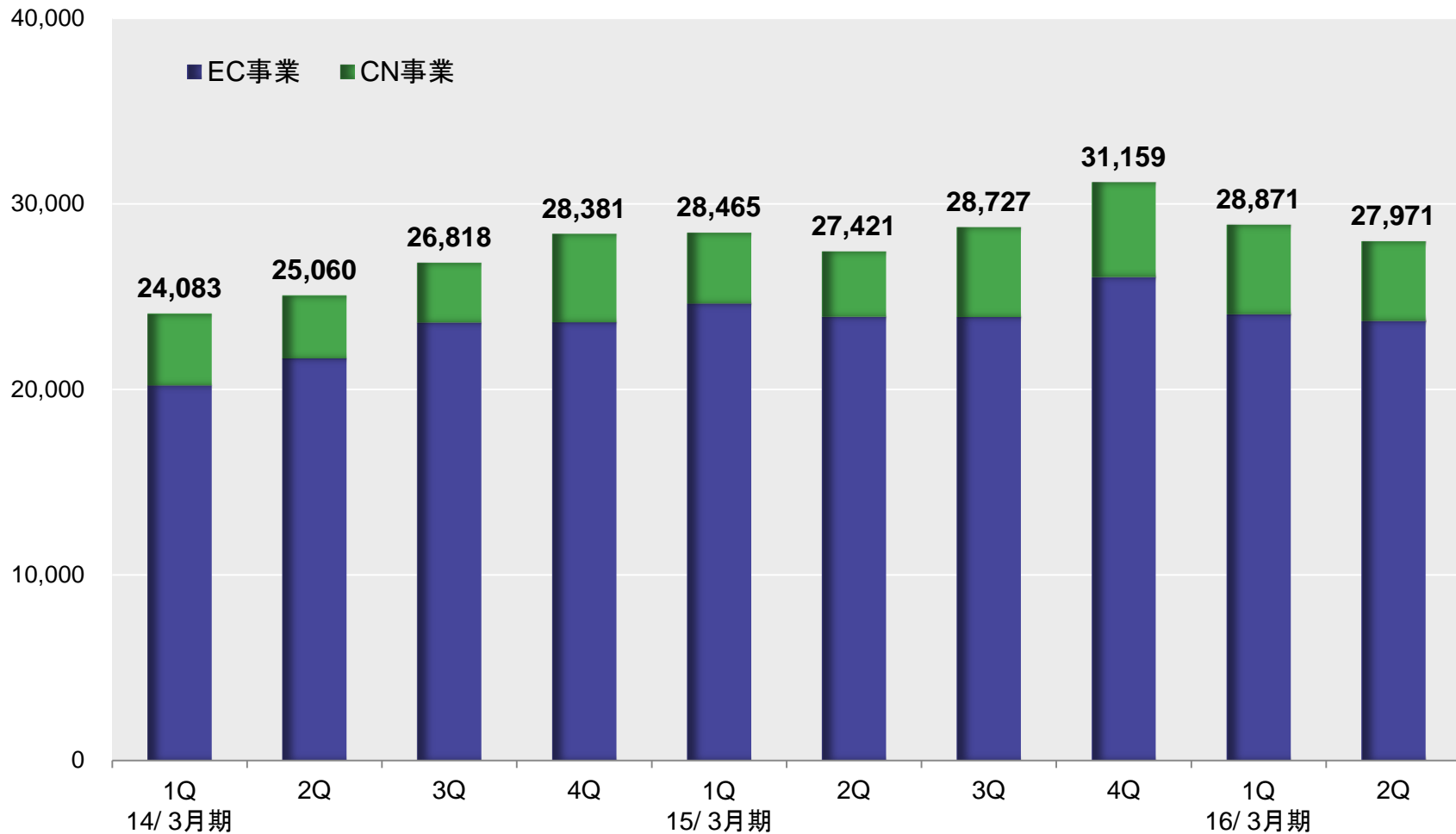
- ヘルプデスク
- オンサイト保守
- 24時間障害コール受付
- 有償技術支援サービス提供開始



新宿サポートセンター

➤ 受注高の推移

(百万円)



➤ 事業環境予想

EC事業

- ✓ 中国は成長鈍化が鮮明、アジア地域への影響を懸念
- ✓ 国内半導体市場は産業機器、車載機器に先行き不透明感

CN事業

- ✓ 国内クラウド市場は、堅調を想定
- ✓ IT投資はデータセンター中心に拡大傾向
- ✓ 下期は官公庁向けビジネス増加

2016年3月期 業績見込み

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期			対前年比	
	実績	上期	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	111,664	57,143	59,856	117,000	5,335	4.8%
EC事業	95,415	48,698	50,362	99,060	3,645	3.8%
CN事業	16,248	8,444	9,495	17,940	1,692	10.4%
経常利益 (利益率)	1,358 (1.2%)	647 (1.1%)	953 (1.6%)	1,600 (1.4%)	241	17.8%
当期純利益 (利益率)	717 (0.6%)	416 (0.7%)	634 (1.1%)	1,050 (0.9%)	332	46.4%

通期売上高を30億円上方修正 利益は修正なし

EC事業売上高 : 商権拡大及び新商材が寄与 インレビウムも下期増加

CN事業売上高 : 官公庁向けビジネス増加

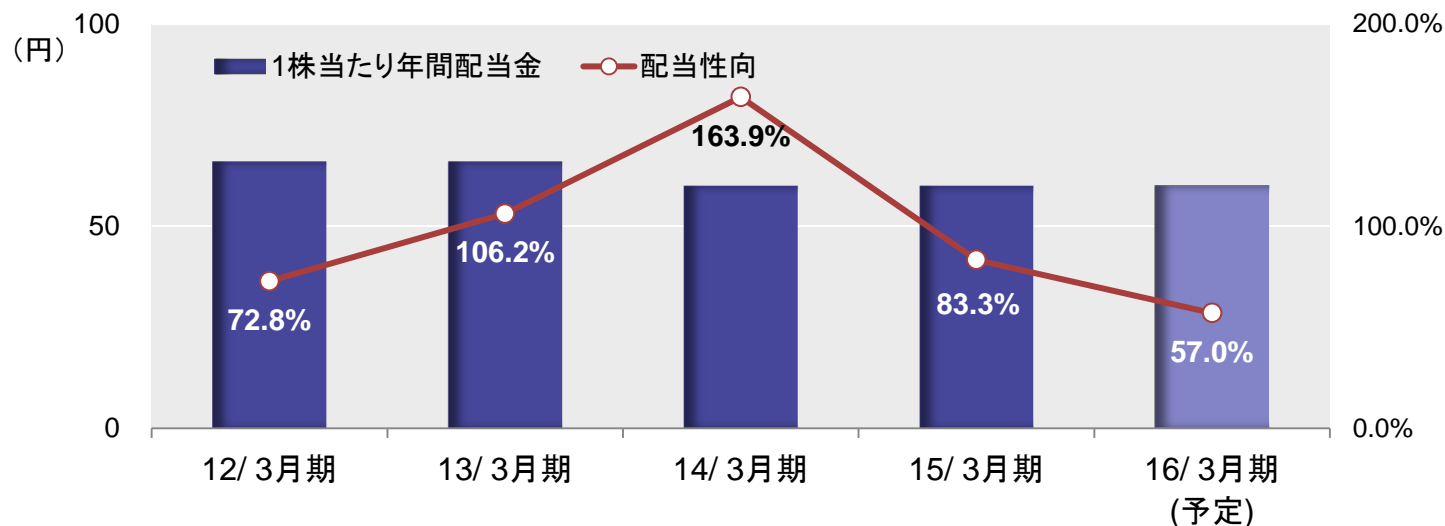
➤ 株主還元方針

配当性向の目安 : 50%以上 かつ、DOEは2.5%を下限

※ DOE=配当性向×ROE(株主資本利益率)

➤ 1株当たり年間配当金

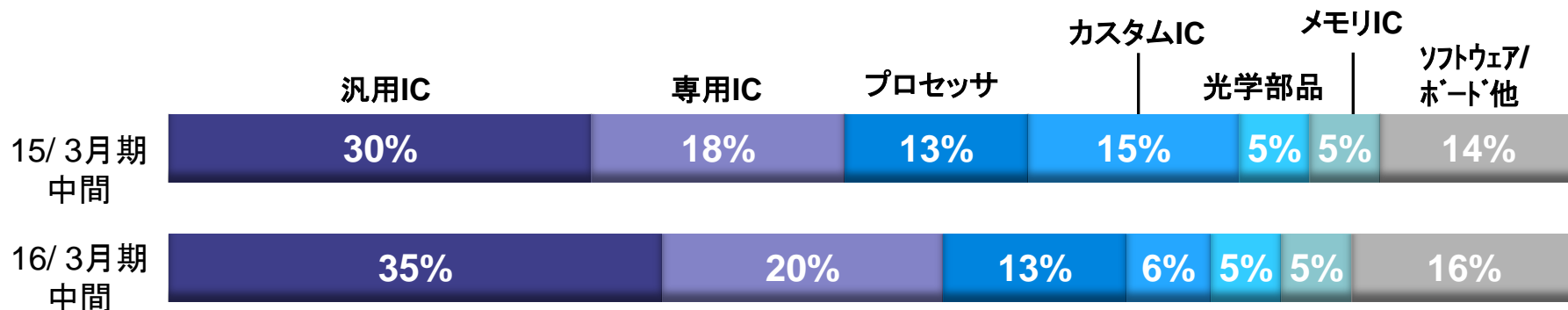
	2015年3月期		2016年3月期	
中間		30円		30円
期末		30円	(予定)	30円



※ 株式分割調整後の金額を記載しております。

補足資料

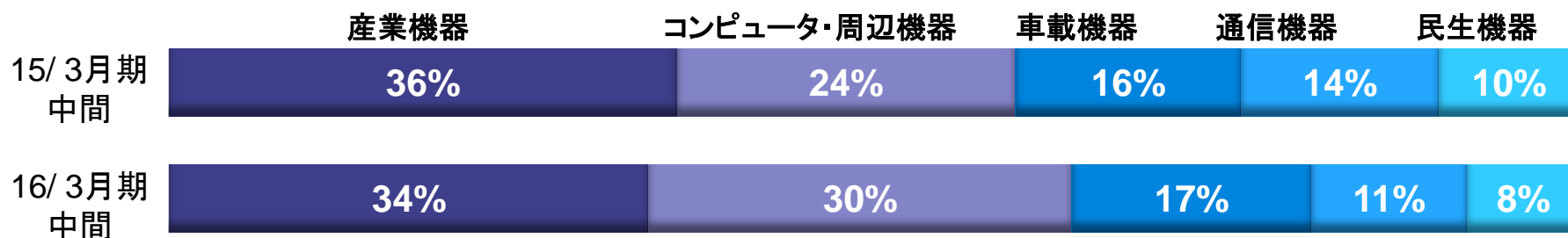
EC事業 品目別売上構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入先
汎用IC	19.4%	商権拡大 PC、ストレージ増加、	TI / リニアテクノロジー / フリースケール
専用IC	18.0%	プリンター、液晶プロジェクタ等コンピュータ周辺機器、 カーナビゲーション増加	TI / ピクセルワークス / サイプレス / インビアム
プロセッサ	10.1%	POS増加	フリースケール / TI / インテル
カスタムIC	▲55.8%	ザイリンクス社販売代理店契約解消	ザイリンクス/ソシオネクスト / インビアム
光学部品	▲2.1%	スマートフォン減少	アバゴ・テクノロジー
メモリIC	▲22.0%	商権喪失あり減少	IDT/サイプレス / スパンション
ソフトウェア/ ボード*他	19.0%	POS増加、ボード製品(インビアム)も増加	マイクロソフト / コーセル / インビアム

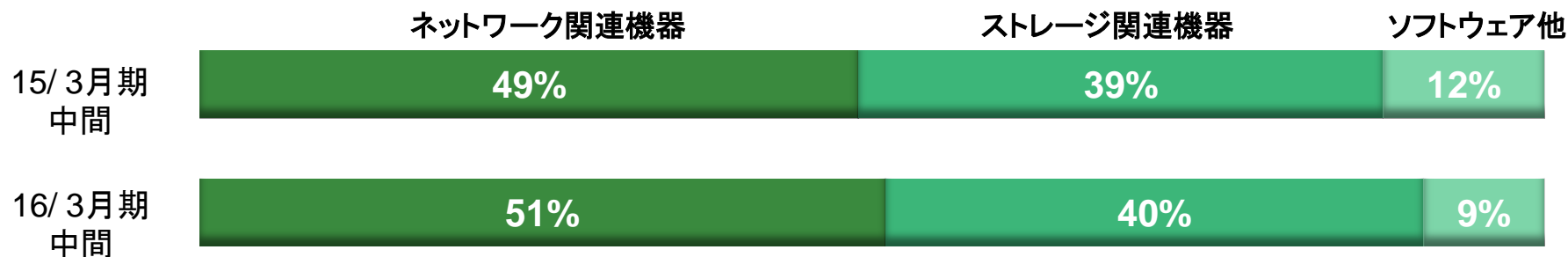
※仕入先名は略称で記載しております。

EC事業 用途別売上構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	▲2.5%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ 計測器	ザイリンクス社販売代理店契約解消により減少
コンピュータ・ 周辺機器	28.1%	複合プリンター 液晶プロジェクタ OA機器 ストレージ PC及び付属機器 POS	商権拡大により、PC ストレージ増加 POS プロジェクタも増加
車載機器	15.3%	カーナビゲーション カーオーディオ ボディ系	マーケット堅調
通信機器	▲18.3%	携帯電話 スマートフォン ルーター 伝送装置 基地局	ザイリンクス社販売代理店契約解消により減少
民生機器	▲20.4%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン	マーケット低調

CN事業 品目別売上構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入先
ネットワーク関連機器	25.9%	官公庁向け直接販売好調	エクストリームネットワークス社 F5ネットワークス社 インフォブックス社
ストレージ関連機器	25.4%	企業向け間接販売堅調 データセンター向け直接販売好調	ブロード社 EMC社(アイシロン データドメイン) ピュアストレージ社
ソフトウェア他	▲12.0%	データベースソフトウェア減少	ダイアロジック社 Pivotal社 オラクル社

※仕入先名は アルファベット順 略称で記載しております。

ご参考：品目

	品目	主な製品	機能
EC事業	汎用IC	アナログIC ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	専用IC	画像処理用IC 通信用・ネットワーク用IC	特定用途用に作られた専用IC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	カスタムIC	ASIC PLD	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	光学部品	発光ダイオード フォトカプラ	電気を光に変換して使用する電子部品
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ソフトウェア / ボード 他	ソフトウェア ボード 電源 コネクタ	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品(ボード)
CN事業	ネットワーク関連機器	ネットワーク負荷分散装置、 セキュリティ関連機器	インターネットの接続負荷の分散、 ネットワーク上のセキュリティを強化
	ストレージ関連機器	SANスイッチ フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	ソフトウェア他	データウェアハウス用データ ベースソフトウェア 組み込みデータベース	データベース管理、クラウド環境の管理

inrevium

東京エレクトロデバイスが持つ「技術」「情報」「サービス」を融合し、お客様の潜在的な課題の解決に資する製品やサービスを独自に開発及び販売を行う事業です。

inrevium には、

自らを内部 (**in**ternal) から改革する (**rev**olution) という意味が込められています。

設計／量産受託(DMS)

⇒お客様からの委託による
設計・開発・量産

<製品>

FPGA

ボード

ソフトウェア

自社ブランド製品開発

⇒市場のニーズに合わせ、
当社のもつ技術を製品化

<製品>

LSI

ボード

IP

ソフトウェア

省エネ環境製品

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーションで述べられている将来の当社事業に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。

当社の参画するエレクトロニクス業界及びIT業界は変化のスピードが大変速く、また、世界経済、半導体市況など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、今後当社の業績見通しが本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおきください。
また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。